

## 連携 ⑤

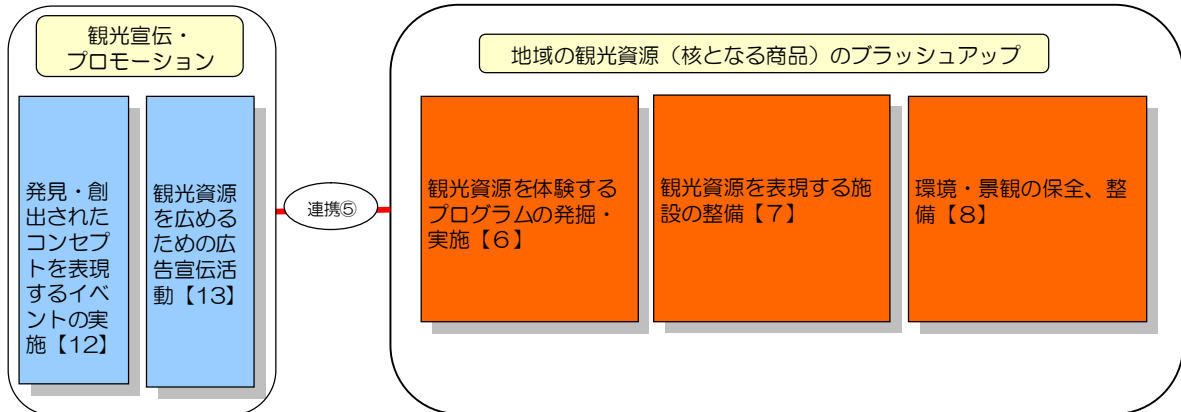
### ハードとソフトの連携による魅力向上



取組【6】【7】【8】【12】【13】

特徴的な事例

03-遠野 10-富士河口湖



### 連携の狙い

○観光の核となる施設（ハード）の魅力とイベント、広告宣伝活動（ソフト）での集客力・PR効果を連携させることにより、地域観光資源をより魅力ある形で発信する。

### 連携のポイント

#### ○施設と連携したイベントや広告宣伝活動の実施による相乗効果

・イベントや広告宣伝活動を単体で実施している地域が多いが、地域の核となる観光施設と連携して、それらを実施することにより相乗効果が期待できる（富士河口湖町では、「ハーブ館」と連携して、「ハーブフェスティバル」を開催することにより、ハーブ館のイメージアップや、商品の売り上げ向上に繋がっている）。

#### ○統一コンセプトを反映させた観光宣伝・プロモーションと施設整備

・イベント、広告宣伝活動の実施、施設の整備は地域のコンセプトを反映させたものにする事で、個々で実施するよりも魅力の活用にあたって相乗効果が期待できる。

#### ○運営段階まで見据えた施設整備

・施設を整備することがメインとなってしまう、その中味の活用方法まで考慮できていない地域が多く見られる。施設（ハード）を整備する段階から、どのようなイベント、宣伝活動（ソフト）を実施したら運営が効果的・効率的なものになるのかを考えることが重要である。

### 期待される効果

○施設（ハード）整備とイベント、広告宣伝活動（ソフト）を効果的に組み合わせることによって、相乗効果により魅力ある観光地とすることができる。